

第295回幹事会（令和2年7月30日（木）13:30～）

## 議事次第

（公開審議）

## I 前回議事要旨確認

## II 諸報告

## III 審議事項等

- |   |   |
|---|---|
| 1 規則関係  | 提案1 「日本の展望2020検討委員会運営要綱」を改正すること   |
|   | 提案2 「日本学術会議協力学術研究団体規程」の一部改正について   |
| 2 提言等関係   | 提案3 提言「物理学分野における学問分野に基づく教育研究（DBER）の推進」について日本学術会議会則第2条第3号の「提言」として取り扱うこと                      |
|   | 提案4 報告「科学的知見の創出に資する可視化—文理融合研究と新パラダイム策定—」について日本学術会議会則第2条第4号の「報告」として取り扱うこと                    |
|   | 提案5 提言「活力ある超高齢社会の構築に向けて—これからの日本の医学・医療、そして社会のあり方—」について日本学術会議会則第2条第3号の「提言」として取り扱うこと           |
|   | 提案6 提言「すべての人に無償の普通教育を 多様な市民の教育システムへの包摂に向けて」について日本学術会議会則第2条第3号の「提言」として取り扱うこと                 |
|   | 提案7 提言「「地理総合」で変わる新しい地理教育の充実に向けて—持続可能な社会づくりに貢献する地理的資質能力の育成—」について日本学術会議会則第2条第3号の「提言」として取り扱うこと |
|   | 提案8 提言「不透明化する世界と地域研究の推進—ネットワーク化による体制の強化に向けて—」について日本学術会議会則第2条第3号の「提言」として取り扱うこと               |
|   | 提案9 報告「「軍事的安全保障研究に関する声明」への研究機関・学協会の対応と論点」について日本学術会議会則第2条第4号の「報告」として取り扱うこと                   |
| 3 協力学術研究団体関係                                      | 提案10 日本学術会議協力学術研究団体を指定すること  |
| 4 学術フォーラム及び土日祝日に講堂を使用するシンポジウム等<br>【令和2年度第3四半期】追加分 | 提案11 学術フォーラム「コロナとの共生の時代における分析化学の果たす役割」の開催について   |
|   | 提案12 公開シンポジウム「身体・社会・感染症—哲学・倫理学・宗教研究はパンデミックをどう考えるか—」   |
| 5 その他シンポジウム等                                      | 提案13 公開シンポジウム「生命科学分野におけるジェンダー・ダイバーシティに関する課題と今後の展望」  |
|   | 提案14 公開シンポジウム「第6回理論応用力学シンポジウム」  |

- 提案15 公開ワークショップ「新型コロナウイルス禍の下での持続可能な発展のための教育の推進」の開催について
- 提案16 公開シンポジウム「新知見の扱いとその活用」
- 提案17 公開シンポジウム「口腔と全身のネットワーク ～咀嚼・嚥下と脳・神経機能の関連～」
- 提案18 公開シンポジウム「理数系教育とジェンダー：学校教育にできること」
- 提案19 公開シンポジウム「感覚器におけるスマートフォンの光と影」
- 提案20 公開シンポジウム「こころ・からだ・細胞を運動でつなぐアプローチ」
- 提案21 公開シンポジウム「コロナ時代におけるフィールドワーク教育をめぐって」
- 提案22 公開シンポジウム「原子力総合シンポジウム」
- 提案23 公開シンポジウム「複合災害への備えー withコロナ時代を生きる」
- 提案24 公開シンポジウム「融合社会脳研究の発展へ向けて」
- 提案25 公開シンポジウム「第12回基礎法総合シンポジウム：「移動・帰属・アイデンティティ一人の国際移動と国家の役割」
- 提案26 公開シンポジウム「東北マリンサイエンス拠点形成事業と今後の水産研究のあり方-豊かな海へ、科学の力で-
- 提案27 公開シンポジウム「第25回 史料保存利用問題シンポジウム」
- 提案28 国内会議の後援をすること

6 後援

IV その他